

# 令和2年度事業報告書

熊本県は、高齢化率が31.1%（熊本県推計人口調査「人口推計（令和元年10月1日現在）」）と全国より早く高齢化が進展している。

このような中、県では、平成28年4月に発生した熊本地震を受けて、同年12月に「熊本復旧・復興4カ年戦略」を策定し、「災害に強く誇れる<sup>たから</sup>資産を次代につなぎ夢にあふれる新たな熊本の創造」という基本理念のもと、大きく4つの取組みが掲げられ、その一つに「安心して希望に満ちた暮らしの創造」が、その方向性として整理されている。

高齢者に係る取組みとしては、地域の活力を維持していくためにも若者、高齢者、障がい者の活躍が重要とされ、豊富な知識と社会経験を持つ高齢者が産業活動や地域社会の担い手として、意欲と能力に応じて活躍できるよう、ニーズの掘り起こしや地域で活躍する高齢者の情報の発信を推進し、年金プラス100万円の豊かなシルバーライフを目指し、しごとづくりの他、起業化の支援などにより、生涯現役で活躍できる環境づくりを支援していくとされている。

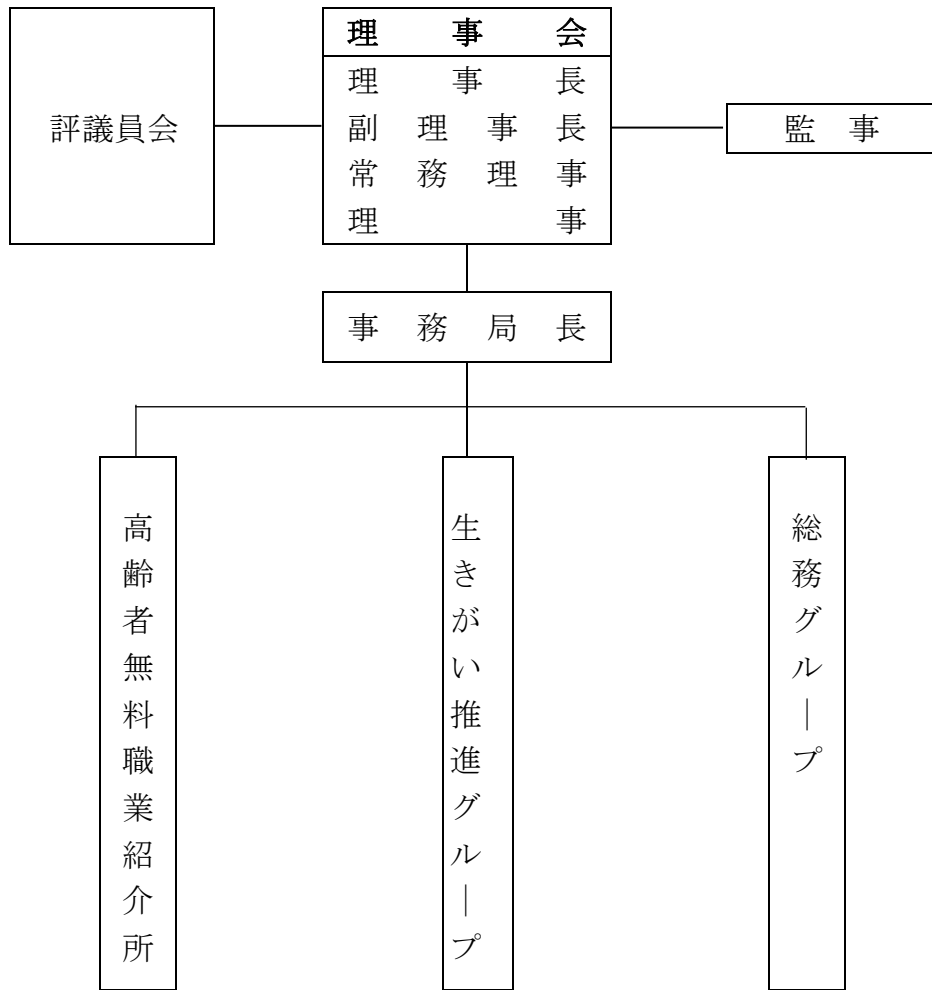
また、平成30年3月に制定された第7期熊本県高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画においても、「高齢者が健やかに暮らし、いきいきと活躍できる“長寿で輝く”くまもと」づくりを目指し、すべての高齢者が、暮らしたいと思う地域・場所で、快適かつ安心・安全に、生きがいと社会参加の機会を持ちながら、自立して長寿を全うすることのできる熊本を目指すこととなっている。

当財団に対しては、こうした状況を踏まえ、「長寿を楽しめる社会づくり」（活力ある長寿社会づくり）の一翼を担うことが期待されており、国や県と協調した施策展開、市町村、社会福祉協議会、老人クラブ・各種団体等と連携した事業等の実施に努めるとともに簡素で効率的な運営に留意しながら引き続き下記事業に取り組んだ。

しかし、新型コロナウイルスの全国的な感染拡大により、シルバースポーツ交流大会をはじめ多くの事業が中止を余儀なくされるに至った。

- 1 高齢者の積極的な社会参加を支援するための生きがい・健康づくり事業
- 2 高齢者への就労支援事業

# 組 織 図 (令和2年度)



# 事業実施状況

## 1 高齢者の積極的な社会参加を支援するための生きがい・健康づくり事業

### (1) 広報事業

高齢者の生きがい健康づくりに関する様々な情報を提供した。

#### ① 情報誌「さわやか」等の発行（年2回）

生きがいと健康づくり、保健・福祉等に関する情報誌を発行し、市町村、市町村社協、老人クラブ、企業、病院、公民館等に10,500部配布した。

・第93号(春号) 特集：輝いて生きる

なお、例年8月に発行している「さわやか」(夏号)は、新型コロナウイルスの影響で様々な事業が中止となったため発行を見合わせ、代わりに財団の事業実施状況やさわやか大学校関係団体の活動状況などを掲載した「さわだより」を作成し、関係者に配布した。

#### ② 財団事業紹介等のホームページの運営

インターネットで高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報を提供するとともに、財団事業への申込みや意見を双方向で行えるように、高齢者がアクセスしやすい画面構成のホームページを運営した。

#### ③ さわやかパートナーシップ講演会の開催

さわやか大学校卒業生等を対象として、さわやか大学校各校OB会とパートナーシップのもと、生きがい健康づくりのための講演会の開催を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止した。

### (2) 人材育成事業

高齢者が地域の活力維持、担い手として、その役割を果たせるよう、学習、活動の機会の提供を図るとともに、高齢者の持つ豊かな知識と社会経験を活用し、その活動の支援を図った。

#### ① 学習機会の提供

##### ア 熊本さわやか大学校の開校

教養講座や体験講座等、高齢者の「生きがい再発見」、「仲間づくり」、「社会参加」を図るとともに、高齢社会のリーダーを育成するため熊本さわやか大学校の開校を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止し、代わりに特別講座を熊本校と八代校で開講した。

##### 1 募集定員

・熊本校 40人、八代校 30人

## 2 講座日程・内容等

- ・熊本校：10月、11月、12月の3コース
- ・八代校：10月、11月の2コース
- ・各コースとも3回の講座で、地域の歴史や健康に関する内容

## イ 出前講座の開催

遠隔地の高齢者を対象に、県内数地域で開催を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止した。

## ② 高齢者の人材活用、活動支援

高齢者が長年にわたって培ってきた知識や経験を活用するとともに、その活動を支援した。

### ア 「熊本さわやか知恵袋」登録者の活用

令和2年度から「シルバーインストラクター」と統合し、新たに「熊本さわやか知恵袋」として、高齢者が長年培ってきた知識や技能を登録し、地域や団体からの依頼に基づき、登録者を派遣し、高齢者の生きがいづくりと世代間の交流を図った。

#### ○ 人材の発掘及び登録

情報誌「さわやか」や当財団ホームページで登録者を募集し、さわやか知恵袋登録者名簿に登録した。

- ・知恵袋登録者・・・スポーツやアトラクションなど5分野

個人：145名、団体：13グループ（令和3年3月31日現在）

（参考）

知恵袋登録者の活動状況（平成31年4月～令和2年3月）

- ・活動回数：個人 延べ475回、団体 延べ274回

### イ さわやかボランティアーズ活動の支援

さわやか大学の卒業生が地域毎に仲間づくりを図りながら、ボランティア活動を実践していこうという趣旨で結成された「さわやかボランティアーズ」の主体的な活動を支援した。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、活動を一部自粛した。

### ウ さわやかシニアくらぶ活動の支援

サラリーマン退職者等で組織する運営委員会「さわやかシニアくらぶ」が企画、実施する、サラリーマン退職者を主なターゲットとした手作りの旅行イベントの取組を支援することとしていたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、イベントがすべて中止になった。

### **(3) スポーツ・文化振興事業**

高齢者の健康増進と相互親睦を深め、生きがいつくりの促進を図るため、スポーツ大会等を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、多くの事業を中止した。

#### **① シルバースポーツ交流大会の開催**

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全種目について中止した。

#### **② シルバー囲碁・将棋大会の開催**

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止した。

#### **③ シルバー作品展の開催**

- ・期間 令和2年9月1日(火)～9月6日(日)
- ・会場 熊本県立美術館本館
- ・出展作品 233点 \*6部門(日本画、洋画、写真、書、彫刻、工芸)

#### **④ 第33回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2020)への選手派遣及び作品の出品**

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国健康福祉祭ぎふ大会が1年延期となったことから、選手団派遣及び作品の出品を中止した。

#### **⑤ 助成金事業**

高齢者が健康長寿・生涯現役で暮らせる社会づくりを促進するために行うボランティアの1団体活動に対し、65千円を助成した。

## **2 高齢者への就労支援事業**

### **熊本県高齢者無料職業紹介所の運営**

高齢者の就労希望者に対してハローワークと連携しながら、その能力に応じた職業紹介を行うとともに、事業主に高齢者雇用(求人開拓等)を働きかけた。

- ・紹介責任者(熊本相談所) 1名
- 能力活用推進員(各県地域振興局) 10名

#### **① 求人・求職・就職状況**

- ・求人数 1,224名
- ・求職数 866名
- ・紹介数 505名
- ・就職数 262名

② 職種別就職状況

・雑役・炊事	165名
・事務	14名
・外務	2名
・家事手伝い	1名
・店員・倉庫係	5名
・技術・技能職	60名
・宿直・守衛	15名